

達成度：H30.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
 4 目標を概ね達成した。
 3 目標を一部達成した。
 2 目標をほとんど達成できなかった。
 1 目標をまったく達成できなかった。

まちづくり課の目標（平成29年度）自己評価書

まちづくり課長 板垣一成

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
1 町道の整備と維持 （1）整備 伊篠地区や本佐倉地区（根古谷）の道路拡幅工事、酒々井地区（横町）の歩道設置工事（無電柱化）を行います。 その他、飯積地区の都市計画道路に係る用地取得を進めます。	4	・伊篠、本佐倉地区については、用地買収済み区間の道路改良工事を実施し、一部供用開始が出来ました。また、酒々井地区の歩道工事についても、無電柱化に必要な電線共同溝の設置を推進し、一部排水施設を設置しました。 その他、飯積地区の都市計画道路については、1名から用地協力が得られました。
（2）維持 主に幹線道路について、ひび割れ等の路面状況を踏まえ、緊急性のあるものを優先し、2～3路線の舗装修繕を行います。	5	・酒々井町舗装修繕計画（舗装）に基づき、緊急性のある路線3路線の舗装修繕工事を実施しました。
2 中川流域の水害対策 調節池整備の実現に向け、社会資本整備総合交付金や他の交付金の活用、その他有効な財源の確保に努め、事業化を図ります。	2	・社会資本整備総合交付金の交付額が要望額に満たなかったことから、事業化が出来ませんでした。
3 人口減少対策 （1）土地利用の促進 駅周辺や市街化区域内の未利用地について調査分析し、地域の実情に合わせた計画を策定するなど、適正な土地利用への誘導、促進を図ります。	3	・酒々井町都市計画マスタープラン及び今年度新たに策定した酒々井町立地適正化計画に基づき、適正な土地利用への誘導を図りました。

(2) 空家対策 適切な管理が行われていない空家が防災、衛生、景観等地域の住民の生活環境に影響を及ぼしていることから、空家発生の防止と解消、有効活用について取り組んでいきます。 4 その他まちづくり政策 (1) 立地適正化計画の策定 市街地の特性を活かした住居機能や都市機能の誘導を検討し、既存ストックを活用した纏まりのある土地利用の維持を図るため、酒々井町独自の立地適正化計画を策定します。 (2) 耐震改修の促進 従来補助制度に加え、新たに制定した「耐震シェルター」等の補助制度について、耐震相談会等で広く周知し、耐震改修の促進に努めます。	4 5 4	・町の実情に合わせた空家等対策の基礎となる、酒々井町空家等対策計画を策定し、町民への周知を図りました。 ・持続可能な都市の実現に向け、酒々井町立地適正化計画を策定しました。 ・耐震改修の促進に向け、広報、回覧及びHPなどで広く周知を実施しました。
--	----------------------------	--